



学生参画型FDの 概要と展望

岡山大学・教育開発センター
天野憲樹

amano@cc.okayama-u.ac.jp

学生参画型FDとは？

- 学生の視点を活かした授業・教育・大学をよくする取り組み

- ポイント:

- 学生が**主体的**に取り組む

- 学生の「**意識改革**」を含む





なぜ「学生参画」なのか？

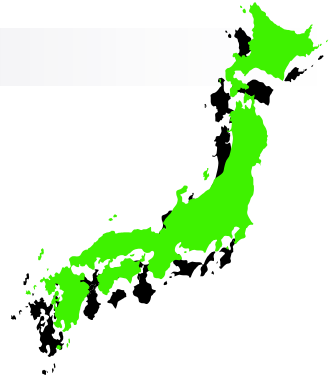
- 教員だけで効果のある「FD」は実現可能か？
 - 学生からのフィードバックがないと適切に「改善」できないことが多い
 - 理想的な「改善」がなされても、学生に学ぶ気になければ意味はない
 - ○○を水飲み場に連れて行くことはできるが...
- **学生も変わらなければならない！**

典型的な学生参画型FD活動

- 学生と教職員の意見交換会
- 学生発案型授業
- 学生参画型FDのフォーラム
- その他
 - 教員インタビュー, 学習支援



全国に広がる学生参画型FD



- 学生参画型FDフォーラムへの参加者が増大
 - 学生FDサミット2012夏(59大学, 427名)
 - ※同種のフォーラムが各地で多数開催
- 学生参画型FDの組織
 - 公的な組織
 - ボランティアによる非公式の組織
 - サークル

岡山大学の学生参画型FD

- 「学生参画型FD」を岡山大学の特色と位置付け, トップダウンで公的な組織を構成
 - 学生・教員FD検討会(2001.6)
 - 学生・教職員教育改善委員会(2003.7)
 - **学生・教職員教育改善専門委員会**(2010.4)
- ※通称: **改善委員会**, 愛称: **SweeTFooD**

改称

改善委員会の構成・活動

■ 構成 ※委員長は学生

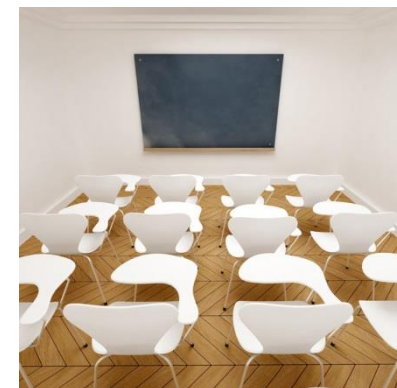
- 学生委員: 30名強 ※11学部から推薦+残留
- 教員委員: 15名弱 ※11学部から推薦ほか
- 職員委員: 学務部から若干名 ※1~3名程度

■ 活動

- 月1回の全体会議
- 週1回のWG: システム改善・授業改善・学生交流

システム改善WG

- 物理的な学習環境や修学上の制度等の改善に関する活動
 - 教員のFD研修会などで話題提供
 - 上制限の見直しに関する提案,
 - 自転車置き場の改善に関する提案など
 - 担当部課への直接的な改善提案
 - 成績確認システムの改善提案など



授業改善WG



■ 授業の改善等に関する活動

□ 授業評価アンケートに関する調査・改善など

- アンケートの項目を検討(H16)
- 自由記述式アンケートの改善提案

□ 学生発案型授業の創作 ※H15年から9科目

- 学びたいことを学ぶ(主体的な学びを促進)
- 教員との授業創作を通じて, 教育改善を考える

学生交流WG



■ 学生参画型FDの普及・促進に関する活動

- 学生参画型FDのフォーラムi*Seeの企画・開催
 - 2005年度から毎年9月に開催(20大学100名程度)
 - 全国の大学に影響:立命館大学の学生FDサミット等
- 新入生のための履修相談会の開催
 - 学生に「大学生」としての自覚を促す
 - 「履修」を通じて, 教育改善への気づきを得る

展望：「質保証」へ

- 学生参画型FDが本来の目的を果たすなら、質保証に結びつくはず
- 学生参画型FDを形骸化・自己目的化させないためにも、質保証に結びつけたい



- 学生・教職員の意見交換会以上の段階に進まない(進めない)
- 活動に学生が関与するだけで満足してしまう

「質保証」と結びつくために

- 学生参画型FDの有効性を示す必要がある
 - 授業・教育・大学を良くしているのか？
 - 学生参画型FDをどう評価(検証)するか？
- 持続的な活動でなければならない
 - 組織・体制をどう整備するか？